



千葉市の救急救命

～安全・安心に暮らせるまちの実現～

2024年度 上期
市長と語ろう会
(地域団体向け)



目次

千葉市の現状p.1
I 消防体制p.3
II 救急体制p.14
III 地域防災p.25

千葉市の現状 (災害対応)

災害対応の現状

災害出動状況 (2023年)

出動件数(前年比)

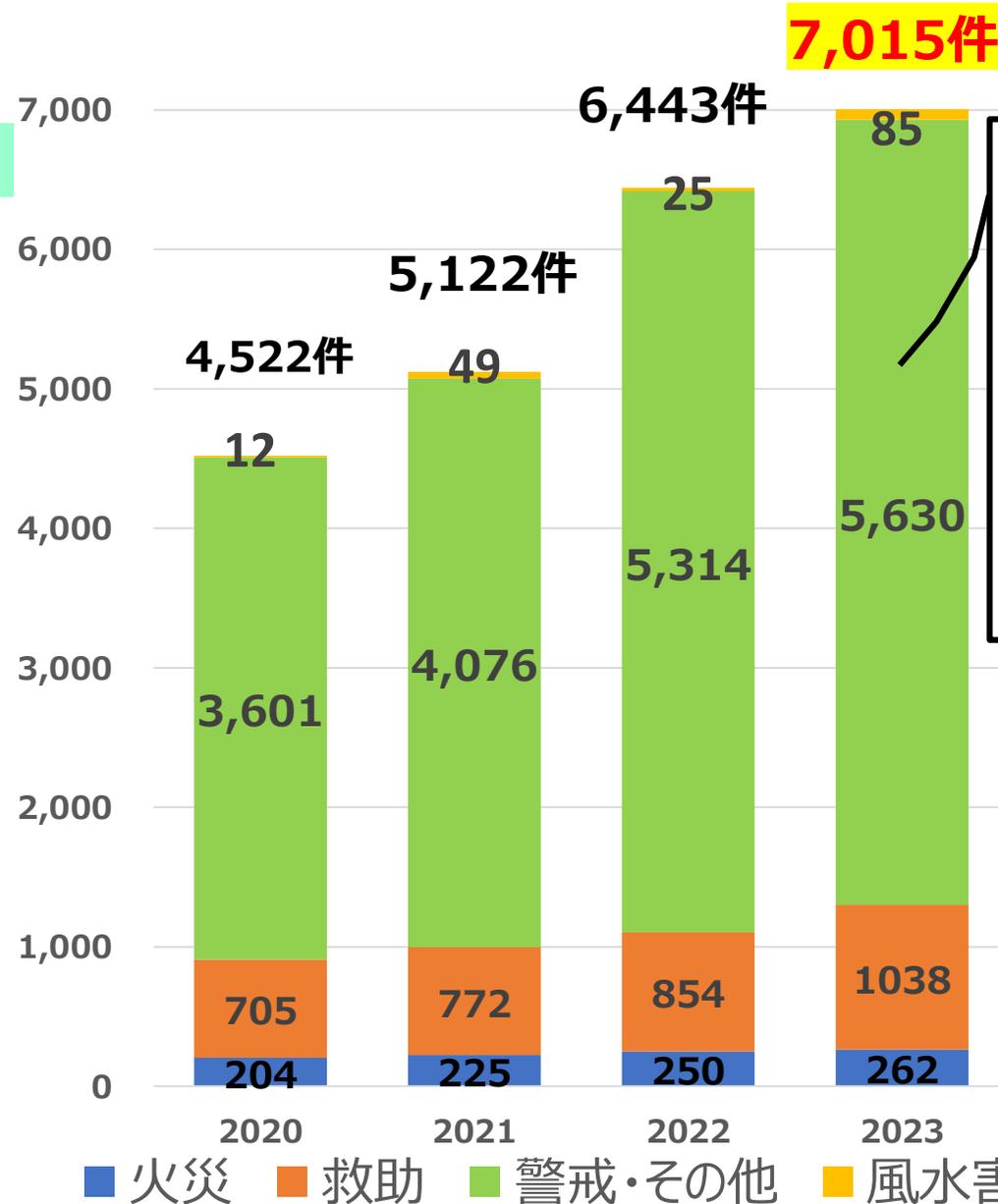
8.9%増

1日当たりの出動件数

19.2件/日

1日当たりの出動頻度

1時間15分/回



警戒その他

5,630件

・PA連携※1

2,568件

・危険排除 290件

・救急支援※2 897件

・誤報 313件

・非火災報 591件

・号外 971件

PA連携

2020年

1,376件

↓ **1.9倍**

2023年

2,568件

※1 PA連携とは:直近の消防ポンプ車 (Pumper) 等を救急現場に先行させ、救急自動車 (Ambulance) 到着前までに必要な処置を行い、救急活動の支援にあたるもの。

※2 救急支援とは:救急隊の支援活動を目的として出動し、搬送補助等を実施するもの。

千葉市の現状（救急出動）

救急出動状況（2023年）

救急出動件数

69,155件（過去最多）

出動件数(前年比)

3.4%増

1日当たりの出動件数

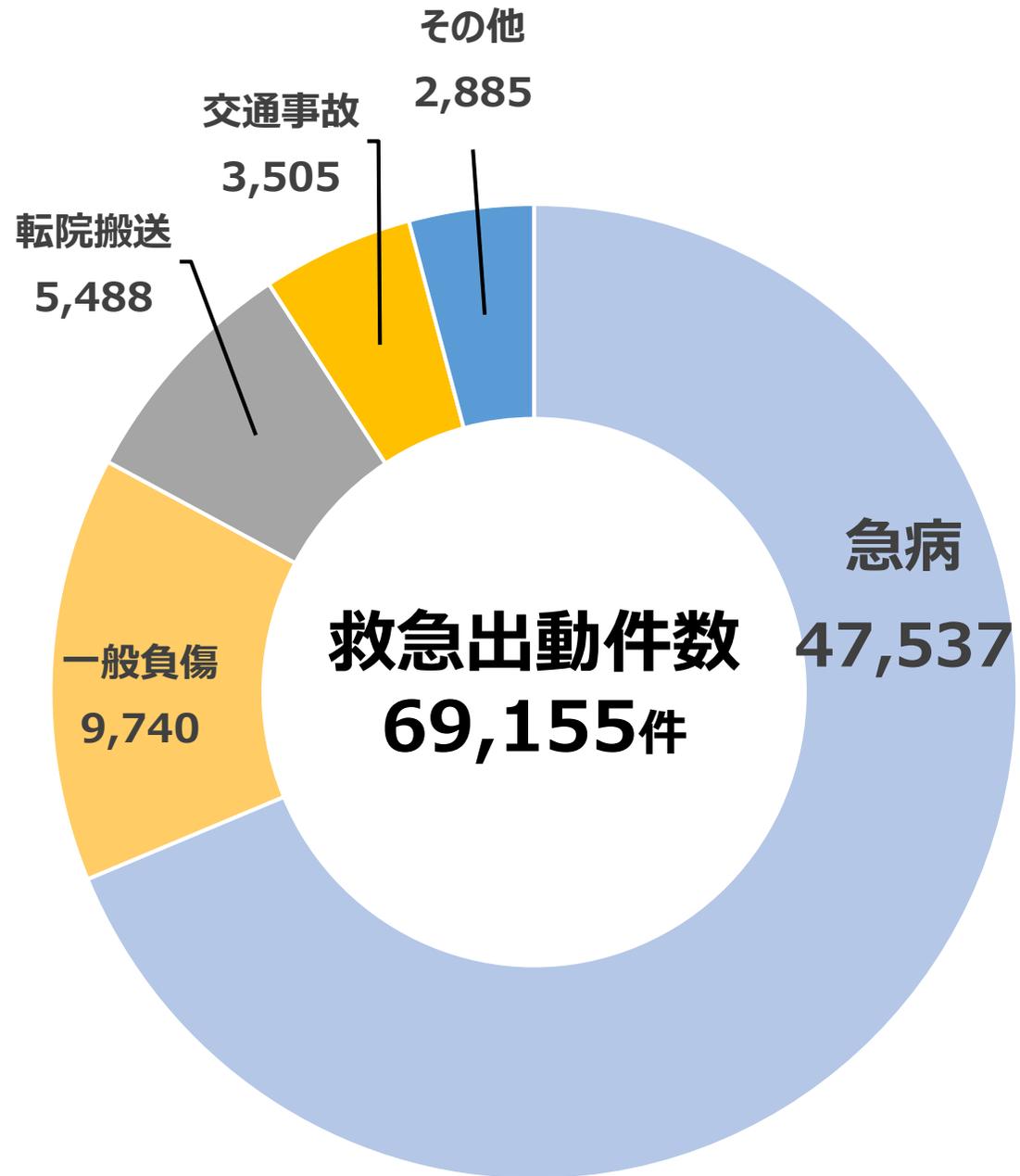
189.5件/日

1日当たりの出動頻度

7.6分/回

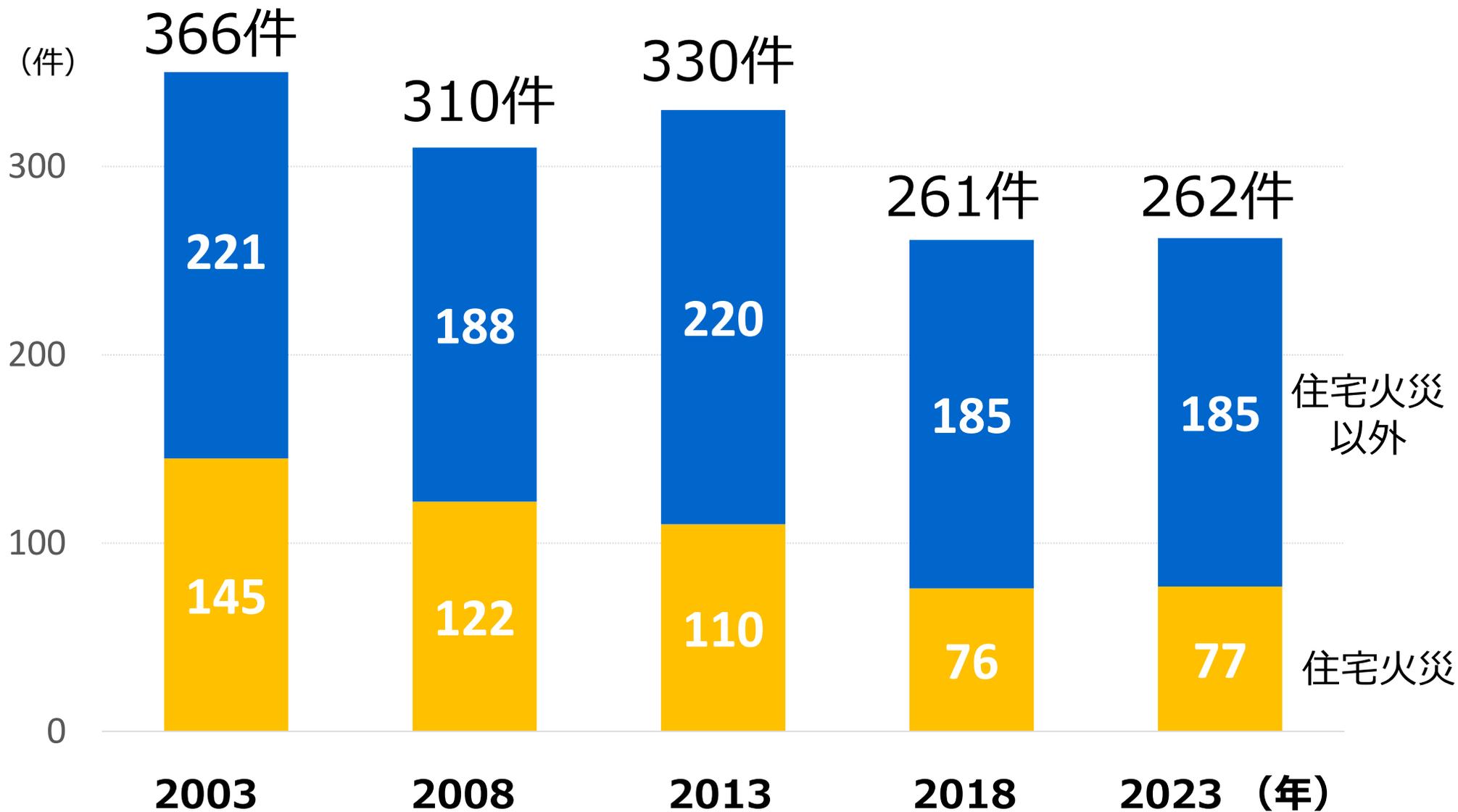
1隊当たりの出動件数

2,660件/年



1 火災対策

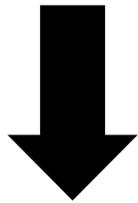
千葉市の火災発生状況



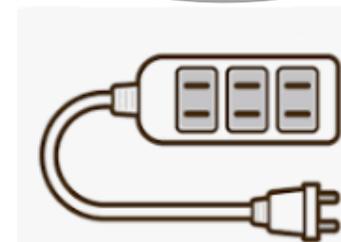
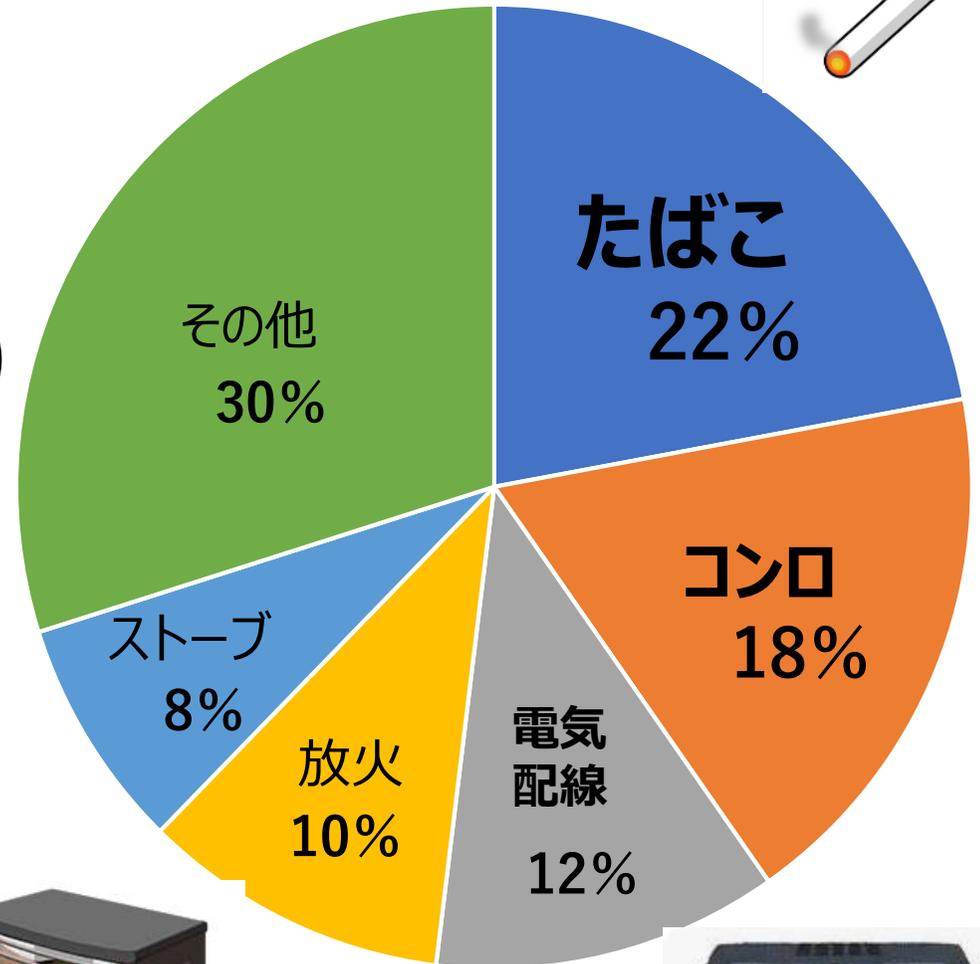
1 火災対策

住宅火災の原因ワースト5（2023年）

火災件数262件のうち、
約3割が住宅火災(77件)



1位	たばこ	17件
2位	コンロ	14件
3位	電気配線	9件
4位	放火	8件
5位	ストーブ	6件



1 火災対策 (住宅防火対策)

1 普段からの火災対策

- ・消火器の設置
- ・防災製品の使用



赤い印の場所に
設置が必要

2 住宅用火災警報器

- ・全ての住宅で設置が義務付けられている
- ・火災による死因の過半数が「逃げ遅れ」であり、いち早く火災に気づくために有効
- ・住宅用火災警報器には種類があり、設置場所に適した物を設置する
- ・定期的な点検が必要
- ・10年を目安に交換を推奨

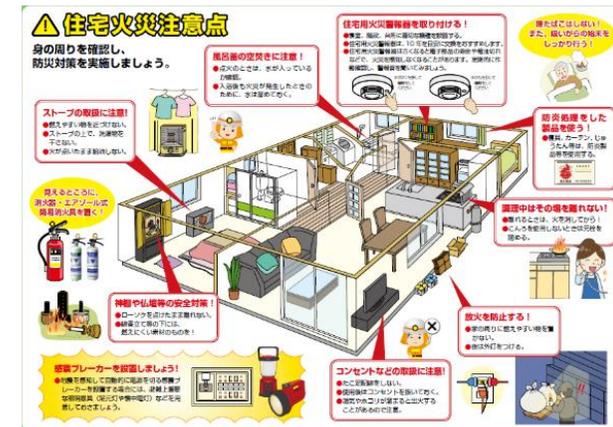
千葉県住宅用火災警報器相談室 043-202-1688

3 防火教育

- ・幼少年から高齢者まで各世代で必要とされる防火知識の普及啓発を実施
 - ・住宅防火に関するリーフレット配布・回覧による普及啓発
 - ・市政出前講座による防火教育
 - ・住宅防火指導

千葉県 火災予防情報

検索



1 火災対策 (住宅防火対策)

感震ブレーカー

- ・地震発生時、電気に起因する出火を防止するため、揺れを感知すると住宅内の電気を遮断する機器
- ・分電盤（内蔵型・後付型）、簡易タイプ等、様々なタイプがある



設置補助事業

- ・密集住宅市街地（要改善市街地）の町内自治会を対象に感震ブレーカー等（簡易タイプ）の設置費用を補助
- ・補助率1/2 上限3,000円

普及啓発

- ・感震ブレーカーに関するリーフレット配布・回覧
- ・感震ブレーカー等（簡易タイプ）販売店登録制度を開始し、購入しやすい環境を構築

ご存じですか?
今後30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率
千葉県は全国的にも高い確率**62%**

阪神淡路大震災や東日本大震災で発生した火災の6割以上が電気に起因する火災と言われています。
地震による火災には「地震発生直後の火災」と「通電火災」があります。

地震発生直後の火災
電気器具が転倒し、可燃物と接触するなどで起こる。

通電火災
停電が発生し、その後電気が復旧した際、可燃物が落下した電気ストーブや破損した電源コードなどに再び電気が通ることが原因で火災が起こる現象。

地震時の電気火災例
地震発生時の電気火災例
重い物が倒れて、壊れた電気製品から発火

地震による電気火災例
地震による電気火災例
電源コードの設置が壊れて短絡(ショート)により発火

復電時の電気火災例
復電時の電気火災例
復電後、電気製品に落下した可燃物から発火

地震による**電気火災**対策には、**感震ブレーカー等**が効果的です。

感震ブレーカー等とは、「感震ブレーカー等」は、設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。

主な感震ブレーカーの種類

分電盤タイプ (内蔵型)

分電盤タイプ (後付型)

簡易タイプ (11本式)



感震ブレーカー等（簡易タイプ）
販売店登録制度ホームページ

千葉県 感震ブレーカー

検索

2 大規模災害対策（地震・風水害）

令和元年房総半島台風

当日の気象状況

降水量（mm）			風速（m/s）		
合計	1時間	10分	平均	最大	最大瞬間
108.5	28.5	7.5	10.0	35.9	57.5



消防局の活動状況

災害種別	出動件数
救助	1件
風水害	406件
警戒・その他	43件

※9月9日～15日に出勤した台風に起因する事案

被害状況

人的被害		住家被害
負傷者	13名	全壊 14棟
負傷者 (停電に伴う被害)	53名	半壊 245棟
		一部破損 6,367棟

救急搬送件数（熱中症の疑い）

9月9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日
23件	78件	21件	9件	2件	0件	3件



2 大規模災害対策（地震・風水害）

2019年（令和元年）10月25日大雨

当日の気象状況

降水量（mm）			風速（m/s）		
合計	1時間	10分	平均	最大	最大瞬間
181.5	44.0	15.5	4.9	8.6	16.6



消防局の活動状況

災害種別	出動件数
救助	17件
風水害	120件
警戒・その他	4件

被害状況

人的被害		住家被害	
死者	3名	全壊	8棟
負傷者	3名	半壊	19棟
		一部破損	38棟



主な救助活動

発生場所	災害概要	活動内容
若葉区野呂町	浸水により16名が建物2階から逃げられなくなった	救助ボートを活用し救出
若葉区谷当町	車両が川に流され、1名が取り残された	救助隊員が入水し救出
緑区板倉町	土砂崩れにより家屋が倒壊し、1名が逃げ遅れた	警察、自衛隊、民間企業と協力し、救出作業を実施
緑区誉田3丁目	地すべりにより家屋2棟が崩落した	警察、自衛隊、民間企業と協力し、救出作業を実施



2 大規模災害対策（地震・風水害）

主な土砂災害対応資機材

資機材名称	保有数
ボート	6艇
胴付き長靴	143着
ゾンデ棒（検索棒）	58本
救命胴衣	299着
爪付き手袋	25個
腕カバー付き手袋	69個
ベルトコンベア	6機
崩落監視システム	1機
ドローン	4機



ボート



崩落監視システム



救命胴衣・胴付き長靴



ACSL 蒼天



上空写真（令和元年9月）

2 大規模災害対策（地震・風水害）

広域応援体制及び関係消防機関との連携（1）

●ちば消防共同指令センター

- ・2013年4月運用開始
- ・千葉市を含む20消防本部が、119番受付、出動指令、無線運用等を共同で運用。

●応援・連携体制

以下の場合、近隣消防本部から応援出動する。

- ・出動できる消防隊や救急隊が無くなったとき
- ・生命に危険がある重篤な症状の救急事案で、別の消防本部の救急隊が近いとき

●映像通報システム（Live119）

- ・2024年5月1日（水）運用開始
- ・通報者と指令管制員で映像の送受信を行い、傷病者や災害現場の詳しい状況を把握できるシステム



共同指令センター



広域応援体制及び関係行政機関との連携（2）

千葉県内消防機関との連携訓練の実施

1 概要

消防防災ヘリコプターの出動に関する協定書及び千葉県広域消防相互応援協定書に基づく出動要請を想定した連携訓練を実施し、広域的な航空消防活動を推進する。

2 参加機関

- (1) 千葉県消防学校
- (2) 千葉県内消防本部

3 訓練内容

ヘリコプターを使用した消火訓練、救急訓練、救助訓練等



消火訓練



救急訓練



救助訓練

2 大規模災害対策（地震・風水害）

広域応援体制及び関係行政機関との連携（3）

能登半島地震における緊急消防援助隊 千葉市消防局航空部隊の活動

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に伴い、
消防庁長官から緊急消防援助隊の出動指示により、
航空部隊が派遣

派遣場所 石川県全域（小松空港を拠点に活動）

派遣期間 1/11～1/17
※1/18～1/31は派遣要請に備え、千葉市消防局
へリポートで待機

出動実績

- 救急搬送
- 人員搬送（消防庁リエゾン、KDDI職員）
- 情報収集（陸上部隊へ上空からの映像配信）



救急隊・DMATと連携した救急活動



輪島市市ノ瀬町 土砂崩れ現場
（陸上部隊へ上空からの映像配信）

2 大規模災害対策（地震・風水害）

広域応援体制及び関係行政機関との連携（4）

消防防災ヘリコプター（おおとり2号）の更新

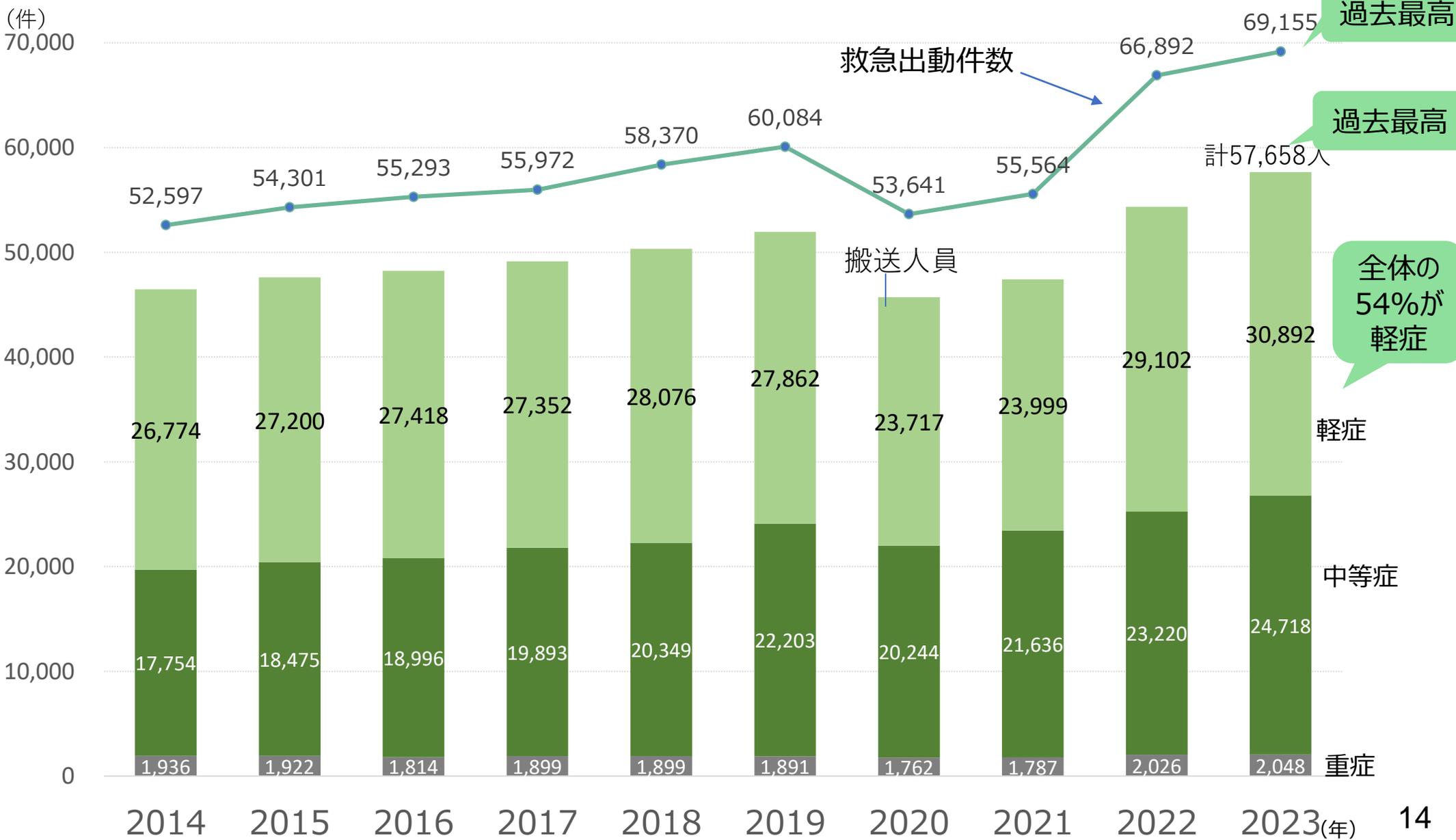
契約機種	レオナルド社製 AW169型 （イタリア製）
契約業者	三井物産エアロスペース株式会社
契約金額（税込）	17億7,980万円
機体の納入期限	2025年3月31日
運航開始	2025年度中（習熟訓練終了後）



更新機種 レオナルド社製AW169型
（同型機種の山口県消防防災ヘリコプター）

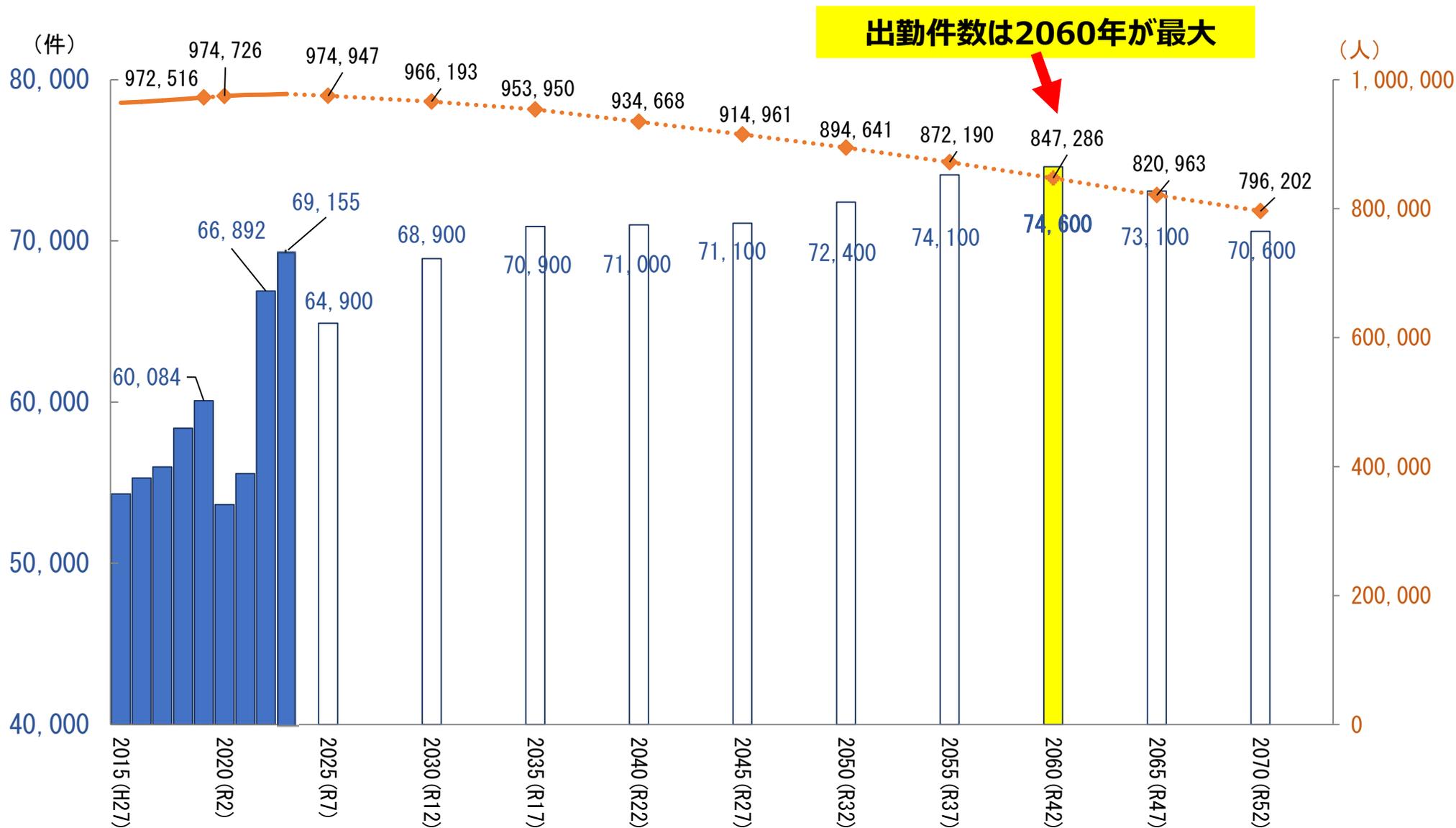
1 市民の安全・安心を守る救急体制の充実強化

救急出動状況(救急出動の推移及び程度別搬送人員の推移)



1 市民の安全・安心を守る救急体制の充実強化

救急車出動実績(人口と救急出動件数の予測)



※ 件数は、令和4年までが確定値、令和5年以降は予測値（*）とした。

※ 人口は、政策企画課作成の「各年別将来人口推計」（令和4年度）から引用した。

* 予測値は令和4年12月現在で、消防庁救急企画室の計算方法を応用して、以下の方法で算出した。

平成30年～令和4年の5年間における年齢別搬送人員及び推計人口から、各年齢における割合を計算、これに将来の人口における、各年齢に対して積算した上で1人を1件とし、さらに同期間における搬送人員に対する不搬送件数の割合（18.64%）から計算した

1 市民の安全・安心を守る救急体制の充実強化

救急隊の増隊

救急出動件数の増加に対応するため、救急隊を増隊して119番通報に対応している。

- ・ **稲毛第2救急隊の増隊**

運用開始日 : 2024年4月1日

増隊理由 : 増加する救急需要に対応するため

- ・ **突発的な救急需要の増加に対する対策**

対策内容 : 突発的な救急需要の高まりに対して、非常用救急車を活用して一時的に増隊する。

- ・ **天候やイベントに応じた対策**

対策内容 : 降積雪時や多くの人が集まる大規模イベントに合わせて、非常用救急車を活用して増隊する。



※イメージ図

1 市民の安全・安心を守る救急体制の充実強化

救急車の適正利用

救急受診ガイド（千葉市）

- 千葉市のホームページで公開し、24時間利用可能
- 救急車を呼ぶかどうか迷ったときに、該当する病気やケガを選択し、緊急度や病院受診の必要性を判断

千葉市 CHIBA CITY

緊急情報 Language 検索 閲覧支援

更新日：2020年12月2日

症状にかかわらず、はじめに必ず確認する症状

このような症状にあてはまれば、すぐに119番に電話して救急車を呼びましょう。

あてはまる項目をクリックしてください。

	呼吸をしていない。息がない。
	脈がない。心臓が止まっている。
	水没している。沈んでいる。
	冷たくなっている。
	呼びかけても、反応がない。
	普通にしゃべれない。声が出せない。

救急安心電話相談（千葉県）

- 救急受診ガイドと同様に、病院に行くか、救急車を呼ぶか迷ったときに電話で相談可能な窓口
- 電話口では、看護師が相談に応じ、必要な場合は医師に転送

病院に行くか、救急車を呼ぶか迷ったら、ご相談ください。

千葉県 救急安心電話相談

使ってよかった！ #7119

・けがをしまして大変で相談しましたが、看護師が応急処置を覚えてくれて、容態も回復しました。結果的に救急車を呼ばずにすんでよかったです。

#7119に相談してね

・夜中に急に熱が出て不安になりましたが、看護師のアドバイスで冷静さを取り戻せました。様子を見て、翌日、近所の病院で診察時間内に受診することができました。

・急にろれつが回らなくなり、心配した家族が#7119で看護師のアドバイスを受け、すぐに119番通報しました。搬送先の病院で脳梗塞と分かり、早期の治療ができたおかげで後遺症もありませんでした。

令和5年11月1日から番号が#7119に変わりました

ダイヤル回線・IP電話・PHSからおかけの場合は

#7119 03-6810-1636

受付時間 (平日・土曜日) 18:00 ~ 翌朝8:00
(日曜・祝日・年末年始・GW) 9:00 ~ 翌朝8:00

千葉県

【利用上の注意】救急安心電話相談は、相談者の参考としていただくものであり、医療行為ではありません。

Q助（総務省消防庁）

救急車を呼ぶべきか迷ったときに、症状を入力することで、緊急度に応じた必要な対応が表示されるアプリ

全国版救急受診アプリ

Q助 きゅーすけ

以下の症状で、当てはまるものはありますか？

呼吸をしていない、息がない

胸が痛い、心臓が止まっている

水没している、沈んでいる

冷たくなっている

どれも当てはまらない

症状の緊急度を素早く判定!!!
救急車を呼ぶ目安に!!!

消防庁では、住民の緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受診手段の情報を提供するため、緊急度判定プロトコルver.2（家庭自己判断）をもとに全国版救急受診アプリ「Q助 きゅーすけ」を作成しました。

スマートフォン用アプリ

Google Play で手に入れよう

Download on the App Store

総務省消防庁「Q助」案内サイト https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filed_list9_6/kyukyuu_app.html

総務省消防庁

1 市民の安全・安心を守る救急体制の充実強化

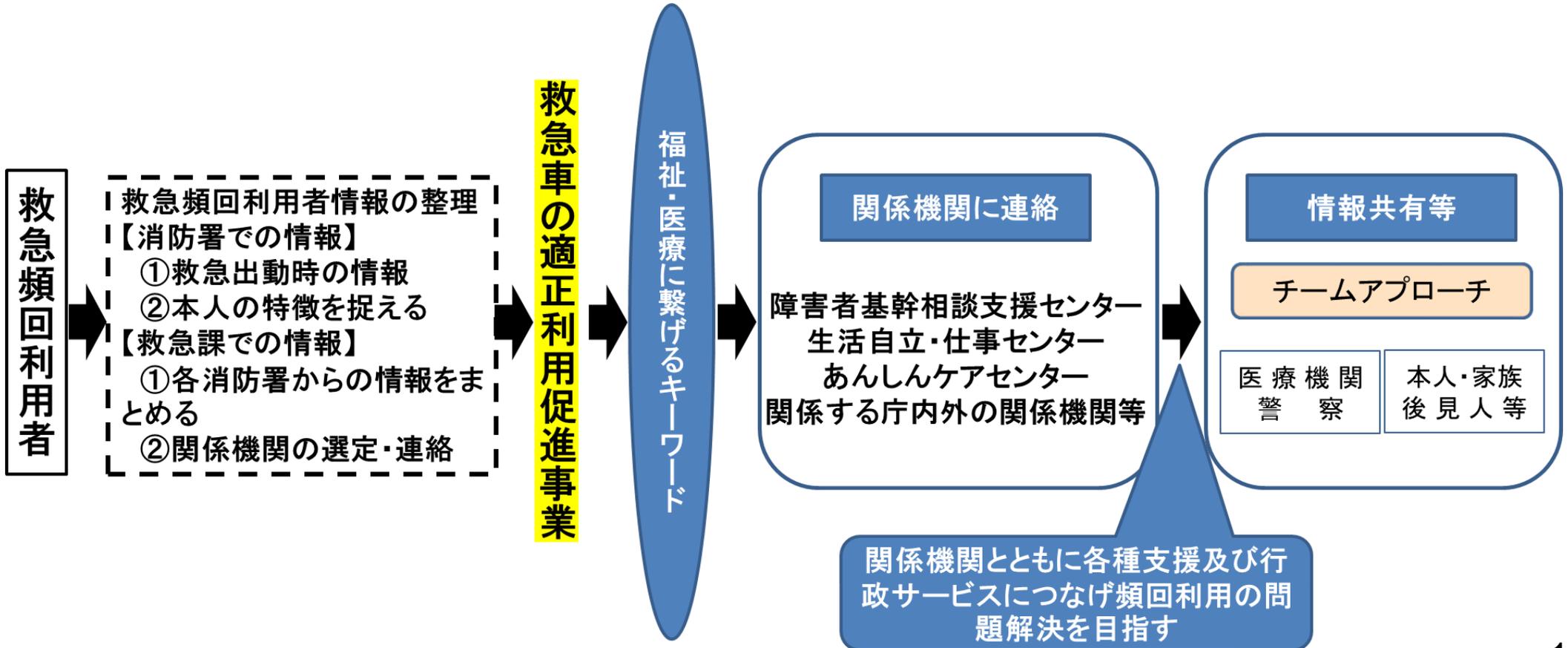
救急頻回利用者対策

頻回利用者の人数及び出動件数

		2019年	2020年	2021年	2022年
頻回利用者の人数	(人)	162	158	164	163
頻回利用者への出動件数	(件)	2,373	2,368	2,142	2,515

救急頻回利用者とは・・・

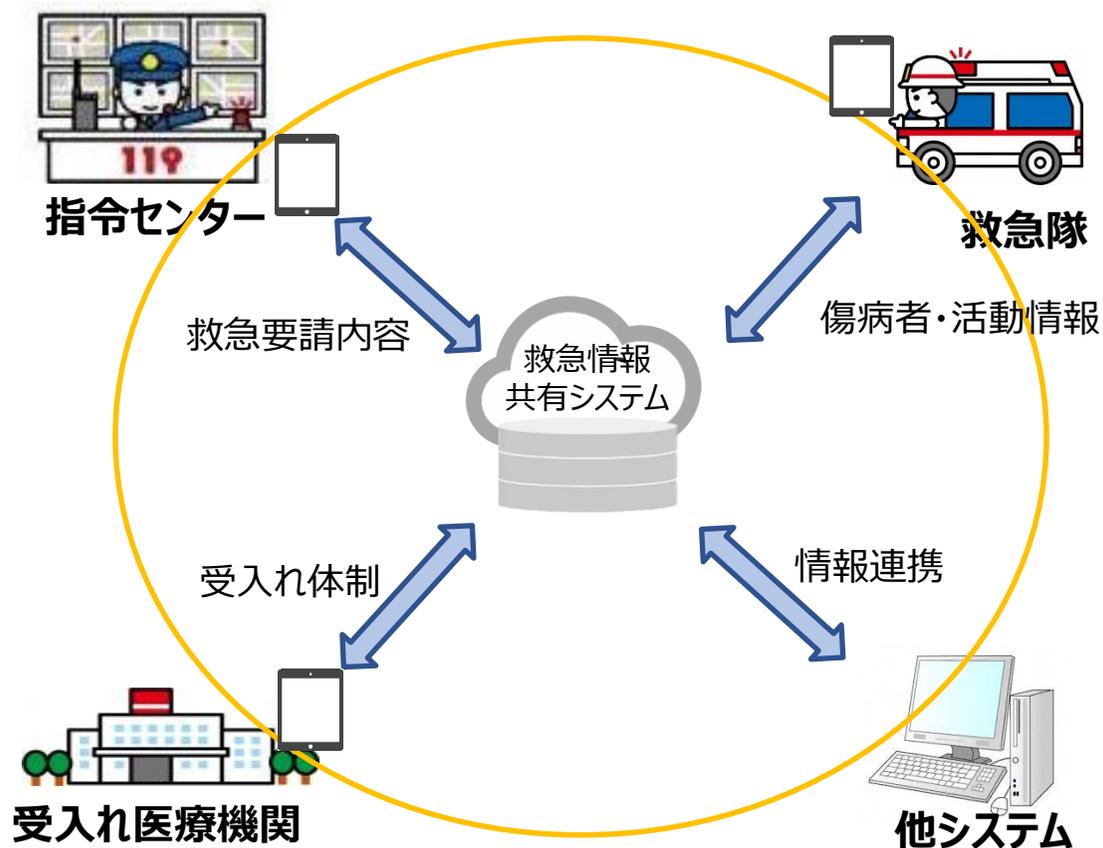
年間7回以上、不適切な救急要請を行う傷病者をいう。



1 市民の安全・安心を守る救急体制の充実強化

ICT活用等による救急の効率化

救急業務の効率化を目的に、2015年からICTを活用した救急活動を行っている。



【協力医療機関数】12施設（2024.2末時点）



【指令センター】

- ◆119番通報時の通話内容をテキスト化して救急隊に送信

【救急隊】

- ◆傷病者の観察結果を端末に入力
- ◆入力した情報を基に緊急度を判定
- ◆医療機関に情報を一斉に送信し、受入照会(複数送信可能)

【医療機関】

- ◆救急隊から送信された情報を基に、受入の可否をタブレット端末で回答

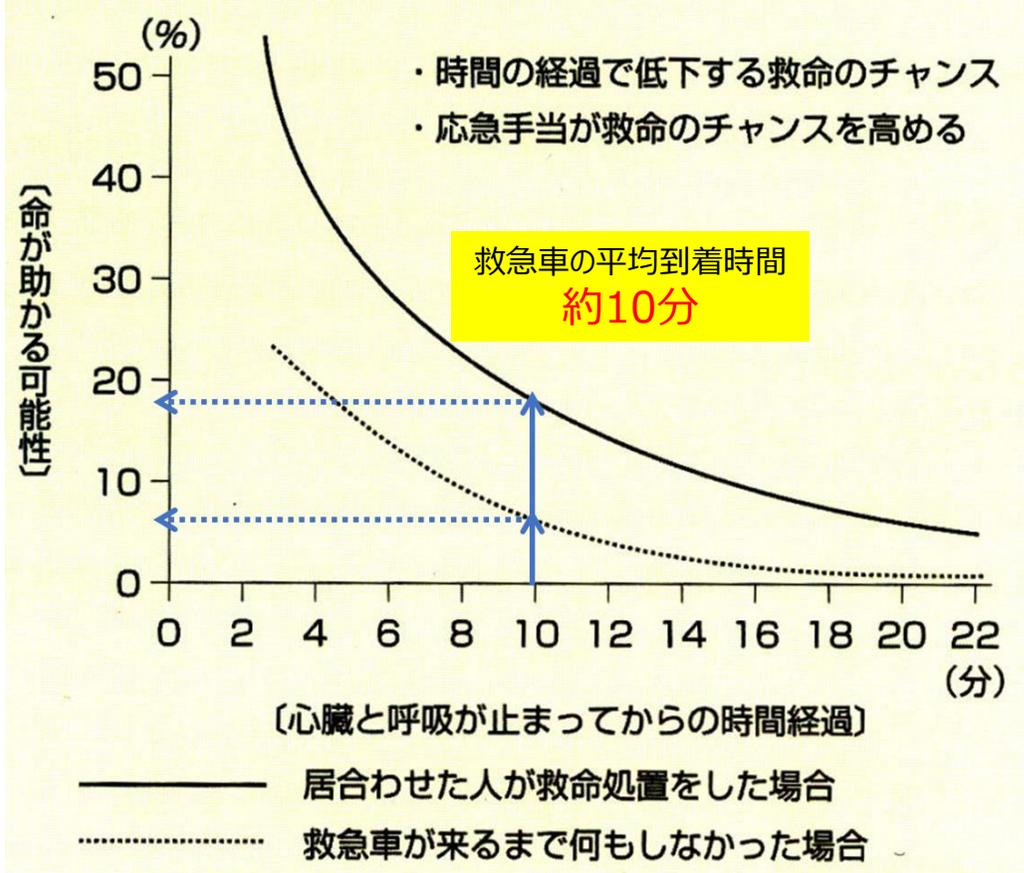
【他システム】

- ◆消防OAシステム等への情報の反映

1 市民の安全・安心を守る救急体制の充実強化

市民との連携による応急手当（1）

応急手当の重要性



各種救命講習窓口
(千葉県消防局ホームページ)



救命講習の種類

救命講習

普通救命講習

救命講習Ⅰ 3時間

救命講習Ⅱ 4時間

救命講習Ⅲ 3時間

応急手当WEB講習

上級救命講習

上級救命講習 8時間

再講習 3時間

短時間救命講習

短時間救命講習 90分

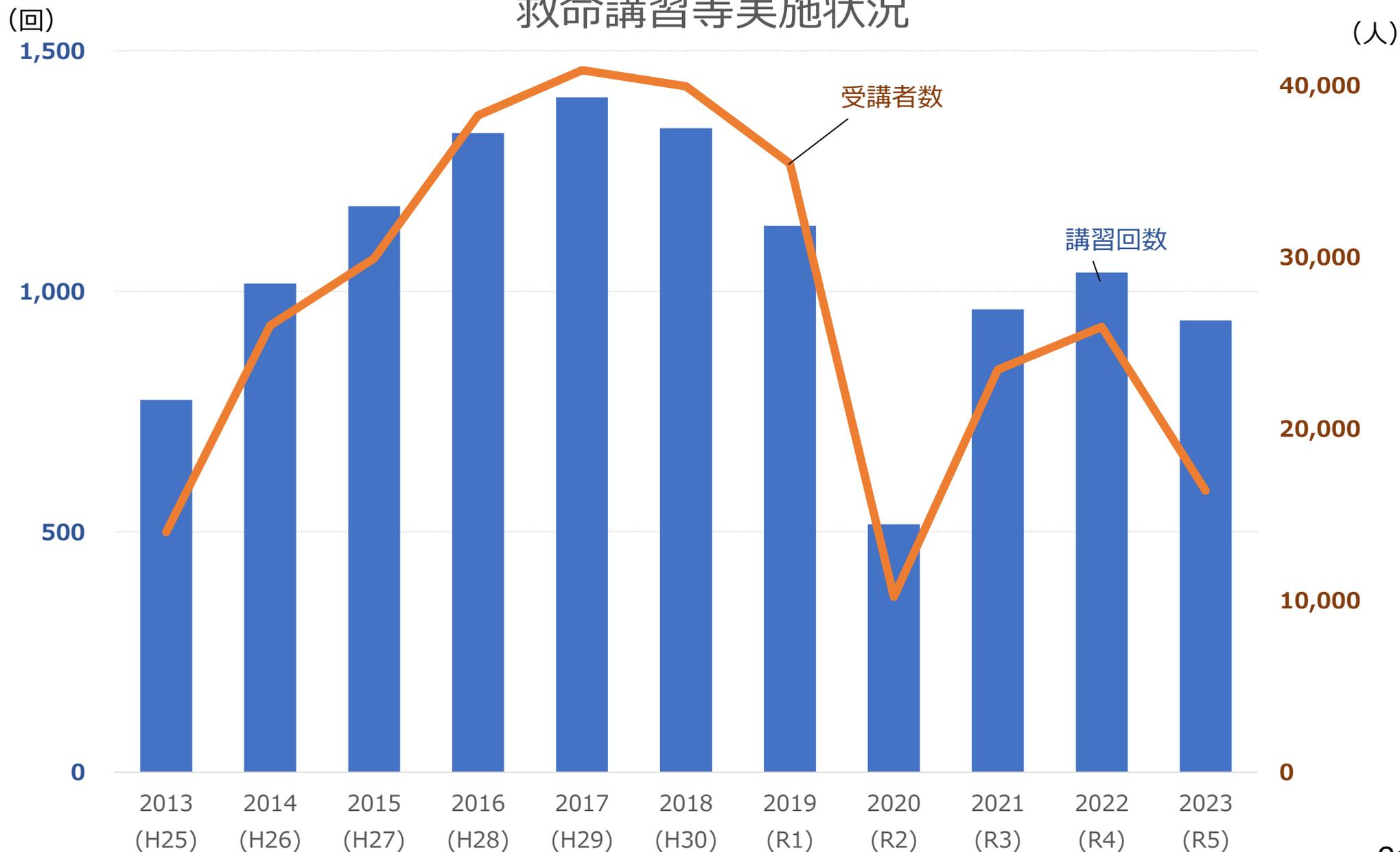
初級救命講習

初級救命講習 45分

1 市民の安全・安心を守る救急体制の充実強化

応急手当等の普及啓発活動（2）

救命講習等実施状況



1 市民の安全・安心を守る救急体制の充実強化

市民との連携による応急手当

応急手当普及協力事業所



千葉県消防局

- 事業所数 580施設
(2024年1月末時点)



いのちを救う動画



- YouTubeで5種類の動画を公開



ショートカットを
スマホへ保存!



2 救急医療体制

新病院

- ① 胎児から高齢者まで切れ目のない医療の提供
- ② 救急医療の強化
- ③ 災害医療の強化
- ④ がん診療体制の強化
- ⑤ 感染対策の強化



外観イメージ（花見川通り側）



案内図



内観イメージ（総合受付）

2 救急医療体制

【電話相談】

救急安心電話相談
こども急病電話相談



【夜間診療】

夜間応急診療（夜急診）



【休日診療】

休日救急診療所



医療機関情報など詳しくは、

千葉市 医療機関

検索



夜間や休日に急病で困ったときは…

電話相談 すぐに受診するべきか、医師や看護師が電話でアドバイスします。
救急安心電話相談 ☎#7119 (IP電話からは☎03-6810-1636)
 平日・土曜日18:00～翌日8:00、日曜日・祝日・年末年始9:00～翌日8:00
こども急病電話相談 ☎#8000 (IP電話からは☎043-242-9939)
 19:00～翌日8:00 (365日)

診療 千葉市医師会などの協力で夜間・休日の応急診療を行っています。応急処置のため、詳しい検査は原則行いません。後日かかりつけ医で受診しましょう。

夜 間		休 日	
夜間応急診療(夜急診) (美浜区磯辺3-31-1海浜病院内) ☎279-3131 【内科・小児科】		休日救急診療所 (美浜区幸町1-3-9 総合保健医療センター内) テレホンサービス ☎244-5353 【内科・小児科・外科・整形外科】 【耳鼻いんこう科・眼科・歯科】 日曜日、祝日、年末年始	
診療時間	平日 19:00～24:00 土・日曜日、 祝日、年末年始 18:00～24:00	診療時間	9:00～17:00
受付時間	診療開始30分前～ 診療終了30分前	受付時間	8:30～11:30、13:00～16:30
夜間外科系救急当番医療機関 テレホンサービス ☎244-8080 【外科・整形外科】		産婦人科休日緊急当番医 テレホンサービス ☎244-0202 【産婦人科】 日曜日、祝日、年末年始	
案内時間	8:00～翌日6:00	案内時間	8:00～17:00
診療時間	18:00～翌日6:00	診療時間	9:00～17:00
夜間開院医療機関案内 ☎246-9797		＊電話での医療相談は行っていません 受診の際の持ち物	
案内時間	17:30～19:30	①健康保険証 (各種受給者証・子ども医療費 助成受給券をお持ちの方は一緒に持参) ②診療代金 ③薬 (服用している方) ④お薬手帳 (お持ちの方)	
月～土曜日 (祝日、年末年始を除く)			

Ⅲ 地域防災

地域防災力の向上（地域における防災力の向上）

倒壊家屋からの脱出（阪神・淡路大震災）

① **自力**又は**近所の助けを借りて** → **98%**

② 消防・警察などの救助 → 2%



対応できる件数は
限られている

自主防災組織（災害による被害の予防・軽減するために結成した組織）

・結成数1,024組織 ・活動カバー率 95.8%（2024年3月時点）

・助成制度①設置助成 〈助成限度額〉世帯数に応じて50,000～120,000円

②活動助成 〈助成限度額〉訓練にかかった費用と、訓練の参加人数×150円を比較し、低い方

③資機材購入・賃借助成 購入額の1/2の額 〈助成限度額〉100,000円＋（世帯数×400円）

④資機材購入・賃借再助成 〈再助成限度額〉100,000円＋（250超の世帯数×400円）

※④の再助成は、③の助成の残額が10,000円未満となった年度の翌年度から5年を経過した組織が対象。

【自主防災組織の取組みの一例】

- ・「無事です」と文字が書かれたタオルを配布し、災害時の安否確認に活用
- ・自主防災組織への加入世帯に対し、防災協力マニュアルを作成・配布

【資機材購入・賃借助成の活用事例】

- ・停電発生時に備えた発電機の購入

【自主防災組織の活動支援】

- ・訓練用資機材（初期消火用資機材、煙体験ハウス）の貸与

地域防災力の向上（地域における防災力の向上）

避難所運営委員会



防災用テント

- 発災直後の混乱の中でも、住民が、生き残るためには最低限のことを、自ら行っていく必要がある
避難所となる施設を中心に町内自治会等の地域の団体が連携し、平常時から避難所の開設・運営の体制づくりを行っている

• 結成数(結成率) (2024年4月末)

● 結成数 269か所

中央：53(100) 花見川：48(98) 稲毛：42(100)
若葉：46(100) 緑：34(100) 美浜：46(96)

★ 避難所運営委員会への支援策 ★

- 避難所開設・運営のための動画を公開
- 避難所開設・運営マニュアルの作成
- 避難所運営委員会活動支援補助金



段ボールベッド・パーテーション

地域防災力の向上

消防団体制

組織体制



条例定数

840人

充足率

84.7%

消防団員数（2024年5月1日現在）

基本団員		火災の鎮圧・予防・警戒、地域住民等に対する指導・協力・支援及び啓発など	666人
機能別団員	大規模災害団員	大規模災害時における基本団員の支援活動（消火、救急、救助、避難誘導等）を行う	37人
	広報団員	各種イベント等における消防団のPR活動や、火災予防の普及等に関する広報を行う	9人
合計			712人



地域防災力の向上

消防団体制

消防団協力事業所



導入開始	2009年3月
目的	事業所等との協力体制の構築を図ることにより地域における消防・防災体制の充実強化を図ること。
内容	勤務時間中の消防団活動への理解や従業員の入団促進など、事業所の協力により地域防災体制の一層の充実を図るもの。 このような事業所に対し「消防団協力事業所表示証」を交付。
市内登録事業所数	57事業所（2024年2月1日現在）

新規入団募集

イベントでの募集活動	消防局市民見学会、各消防署イベント、プロスポーツイベントを活用した広報活動、地域における交流活動など、幅広い年代の加入促進活動を実施。
広報活動	消防団員募集のポスター及びリーフレットを作成。企業や大学へ入団の働きかけを実施、市ホームページ及びX（旧ツイッター）への掲載など、新規入団促進活動を実施。

消防団入団フォームはこちら
興味のある方は一緒に活動しましょう♪
いつでも消防団員募集中！入団相談受付中！



地域防災力の向上

市政出前講座

講座開催期間：令和7年3月31日まで
申込方法：ちば電子申請サービス



←講座を選んで
申込み!

○消防団員養成講座 ～地域のヒーローになろう!～

時間：30～60分
内容：消防団の役割、活動内容、入団方法など



○大切なのは救急隊が到着するまでの応急手当 ～千葉市の救急業務と市民ができる応急手当～

時間：60分
内容：救急業務の現状、応急手当の重要性など



○自宅が危険!? 最も多い住宅火災!! ～普段と地震時の火災対策を考えます～

時間：60分
内容：千葉市の住宅火災の現状、普段からの火災対策、地震時の火災対策など

○火災を予防するために、火災がなぜ起きたのかを 調べています～火災原因の調査と類似火災予防～

時間：60分
内容：火災原因調査と類似火災予防について、
千葉市における主な出火原因など

公益財団法人 防災普及公社

○訓練等体験指導

- ・防災普及車による地震体験
- ・煙体験
- ・119番通報体験
- ・地震の仕組み
- ・天かつ油元火実験
- ・応急手当要領
- ・防災講和



○救命講習

- ・普通救命講習
- ・応急手当WEB講習
- ・上級救命講習
- ・パパ&ママ救命教室



○予防関係講習・研修

- ・自衛消防業務新規講習
- ・防火対象物点検資格者講習
- ・防災実務研修



公益財団法人

千葉市防災普及公社

Chiba City Disaster Prevention Corporation